

日本鐵鋼協會發行

日本標準規格 私費印刷分讓の件

1. 内容、形式、寸法共 商工省御編纂 のものと同一なり。
2. 代金は 1 枚に付き 金壹錢也とす。
但し郵税は實費。第四種郵便にて 17 枚迄で 2 錢 18 以上 36 枚迄で 4 錢 其れ以上は 20 枚内毎 2 錢増しのこと。

本會の發行 日本標準規格目次

規格類別 番號 番號	名 稱	決 定 年月日 大正	商工省 告示 番 號	右同告示 年月日 大正	枚 數	規格類別 番號 番號	名 稱	決 定 年月日 大正	商工省 告示 番 號	右同告示 年月日 大正	枚 數
第1號 B1	金属材料抗張試驗片	11.10.19	43	14. 3. 5	2	39 G17	鋅	15. 6.23	29	2.10.22	9
2 B2	針金の徑、薄板の厚及其の 稱呼	〃	44	〃	1	40 H1	銅 板	〃	30	〃	3
3 Z1	寸法標準數	13. 3. 27	17	14. 9.18	1	41 H2	黃 銅 板	〃	31	〃	3
4 Z2	等比標準數	〃	〃	〃	1	42 H3	アルミニウム板	〃	32	〃	3
5 G1	鍛 鋼 品	〃	9	〃	4	43 H4	銅 棒	〃	33	〃	3
6 G2	鑄 鋼 品	〃	10	〃	4	44 H5	ネーパル黃銅棒	〃	34	〃	3
7 G3	鑄物用銑鐵	〃	11	〃	1	45 H6	高力黃銅棒	〃	35	〃	3
15 G4	水管罐用繼目無鋼管	14. 3.27	18	15.10.26	3	46 H7	火延黃銅棒	〃	36	〃	3
16 G5	圓罐用繼目無鋼管	〃	19	〃	3	47 H8	挽物用黃銅棒	〃	37	〃	2
17 G6	機關車罐用繼目無鋼管	〃	20	〃	2	48 H9	繼目無鋼管	〃	38	〃	3
18 G7	一般用繼目無鋼管	〃	21	〃	3	49 H10	機關車罐用繼目無黃銅管	〃	39	〃	2
19 G8	瓦 斯 管	〃	22	〃	1	50 H11	復水器用繼目無黃銅管	〃	40	〃	2
20 G9	構造(橋梁、建築其の他) 用壓延鋼材	〃	23	〃	6	51 H12	復水器パツキング抑用繼目 無黃銅管	〃	41	〃	2
21 G10	造船用壓延鋼材	〃	24	〃	5	52 H13	一般用繼目無黃銅管	〃	42	〃	3
22 G11	罐用壓延鋼材	〃	25	〃	6	53 H14	銅 地 金	〃	43	〃	1
23 G12	鐵道車輛用壓延鋼材	〃	26	〃	6	54 K1	銅地金分析方法	〃	18	昭和 3.5.23	12
24 G13	壓延鋼材の寸法及重量の公 差	〃	27	〃	2	55 K2	鐵及鋼炭素分析方法	昭和 2.10.3	20	4.5.13	5
25 G14	標準棒鋼	昭和 2.10	3	4. 5.13	4	56 K3	鐵及鋼珪素分析方法	〃	〃	〃	5
26 G15	標準形鋼	〃	29	〃	16	77 G18	罐用繼目無鋼管の寸法	3.10.18	32	5.6.2	1
36 B8	管用れど	大正 15. 6.23	26	2.10.22	1	78 G19	一般用繼目無鋼管の寸法	〃	23	〃	23
37 B9	管接手れど	〃	27	〃	1	79 G20	可鍛鑄鐵品	〃	24	〃	4
38 G16	瓦斯管の寸法	〃	28	〃	1	80 G21	水道用鑄鐵管	〃	25	〃	3
						81 H15	水道用鉛管	〃	26	〃	2
						82 H16	亞鉛地金	〃	27	〃	0
						83 K4	亞鉛地金分析方法	〃	—	—	1

以上の外設計上の参考及製作規格等本會に關係するも多々あれども追ふて發行するものとす。

